

史談

2020 (R2) 1. 7

■明けましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

温暖化の影響か、私の住む荒砥では雪のないお正月を迎えています。旧年中は日本のあちこちでこれまで経験しなかった大きな災害が起きました。新しい年を迎え、この一年が誰にとっても穏やかな日々の続く年でありますようお祈りします。

■研修旅行をおこないました

令和元年9月27日(金)に今年度の史談会研修旅行を行いました。

「伊達領との縁をたずねる～モノとヒト～」をテーマに宮城県の船岡城址、磨崖仏、郷土館などをめぐりました。

最初は村田道の駅で休息を兼ねながら「村田町歴史みらい館」を見学しました。ちょうど企画展「猫にお願い」が開催されていて、養蚕に關係する猫の絵馬や神様などが展示されていました。充実した展示でした。



午前中は、富澤磨崖仏郡や大光院の鉄仏ということで仏様廻りです。

磨崖仏や鉄仏というのは珍しいものです。普段はなかなか目にすることができないもので

あったひとときでした。



船岡城は原田甲斐宗輔の居城で、大河ドラマ「縦ノ木は残った」(原作山本周五郎)で有名です。ちょうど曼珠沙華祭りの期間中で赤の曼珠沙華が咲き乱れていました。中には珍しい白の花も混じっていて、それを探すのも楽しいことでした。

午後からは應寺毘沙門堂の見学をしました。毘沙門堂には養蚕安全を祈って明和5～6年頃(1768～69)から昭和50年代まで23,837枚にのぼる絵馬が奉納されました。それらの絵馬は平成24年に国指定重要有形民俗文化財に登録されましたが、白鷹町の絵馬も2、3枚含まれます。



その後はみやぎ蔵王こけし館を廻り蔵王エコーラインを通ってみんな元気に研修旅行を終えました。

長井から参加して下さった青木慶一さんが感想を書いて下さったので掲載します。

研修旅行に参加させていただいて

長井市 青木慶一

町の図書館で偶々案内を手にし非会員参加可とあったので早速申し込みました。

富澤磨崖仏・船迫の鉄仏・船岡城址・しばたの郷土館・福應寺毘沙門堂・宮城蔵王こけし館、何れも初めての見学でした。

村田町歴史みらい館の企画展「猫にお願い〜東北地方の猫神・猫絵馬・猫供養」は、類似の展示を今までに見たことがありません。一時期養蚕を副業としたわが家（長井市寺泉）でも猫は飼っていたが、愛玩よりも養蚕の敵となる鼠対策であったことを、今まで意識したことが無かったことにも気付かされました。

多分養蚕の時期のことと思うが夜中に起こされて、部屋の隅っこを逃げ回る小さなネズミを家内中で捕まえようとしたことがあったのも思い出しました。鼠除けなどの養蚕安全のお札などもあったのかも知れません。

桑取りや穴蔵に桑を一時保管して、水をかけて桑が熱で変質するのを防いでいたことなどを思い出し、稲作と共に、養蚕で現金収入を得ていた1950年代から60年代の生活を思い出す機会も得ました。学ぶことの多い研修旅行に参加させていただいたことに感謝します。

■令和元年度白鷹町史談会研修会

令和2年2月15日（土）に白鷹町史談会研修会を下記のように開催します。みなさまの参加をお待ちします。

- 1 日時 令和2年2月15日（土）
午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 会場 荒砥地区コミュニティセンター
- 3 内容
 - (1) 自分史講座の報告
 - (2) テーマ研修
「白鷹町の置賜三十三観音（仮題）」

本年度は置賜三十三観音の御開帳年にあたり、盛大に巡礼行事などが開催され、それぞれの観音堂も多くの参拝者で賑わいました。今年度の白鷹町史談会の研修会では、町内の置賜三十三観音のお堂管理者であるお二方を招き、今年度の状況を伺うとともに置賜三十三観音信仰の歴史を探り、今後のありようを考えたいと思います。

講師 山口宥俊氏（円福寺住職）

七番札所 高玉観音

菊地豊宗氏（岡心寺・瑞岩寺住職）

二十九番札所 松岡観音

進行 高橋克範氏（安楽院住職）

4 懇親会 会費は会員1,000円です。

※なお、準備の都合がございますので、会員の出欠は事務局石井さんへ、2月12日まで忘れずにご連絡ください（85-6146）。当日になっての参加希望もよろこんで受け付けますが、飲み物や食べ物が不足するといけませんので、なるべく事前にお知らせください。

なお、非会員の方の出席も大歓迎です。どうぞお誘い合わせの上一緒に御参加ください。

■自分史講座も順調に進んでいます

渋谷敏己副会長を講師としての自分史講座も、12月20日までに4回の講座がおこなわれ、順調に進んでいます。

受講者は30歳から80数歳までの4人です。それぞれにがんばって、みんな1,200字での自己紹介自分史を書くところまでこぎ着けました。最終回は1月17日（金）となります。それぞれの自分史はその日に提出の宿題です。

このお正月は受講生全員が原稿用紙に向かい合って提出する自分史を書いていることでしょう。

（編集 守谷）